つくばみらい市 洪水・土砂災害ハザードマップ

TSUKUBAMIRAI CITY Disaster prevention hazard map

適切な避難行動とは

避難とは「難」を「避」けること。行政が指定した避難場所に行くことだけが避難ではありません。
安全な親戚や知人宅・ホテルなどに避難することも考えてみましょう。

位置図

我が家の防災メモ

わが家の避難所(2箇所以上)　①　　②

家族の連絡先	名前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先
			― ―		― ―
			― ―		― ―
			― ―		― ―
			― ―		― ―
			― ―		― ―
			― ―		― ―

つくばみらい市 総務部 防災課
■住所 〒300-2395 茨城県つくばみらい市福田195
■電話 0297-58-2111(代表)

発行 令和3年8月

日頃の自宅での備え

非常用持出品（リュックサックなどに入れて、避難する際に持ち出すもの）

すぐに避難できるように、最低限必要なものを非常持ち出し品として準備しておきましょう。
非常持ち出し袋は、両手の空くリュックサックがお勧めです。

- □飲料水
- □非常食（食べやすく、保存期間が長く、調理せずに食べられるもの）
- □貴重品（現金・通帳・印鑑・保険証の写しなど）
- □救急用品・医療品（高齢者や持病のあるかたは、常備薬やお薬手帳も）
- □厚手の手袋（軍手）　□ヘルメット・防災頭巾　□衣類（上着・下着）
- □携帯用カイロ　□雨具・防寒具　□懐中電灯・LEDランタン
- □ビニール袋　□携帯ラジオ　□モバイルバッテリー
- □衛生用品（消毒液・マスク）　□ティッシュペーパー　□ウェットティッシュ
- □タオル・ハンカチ　□洗顔用具　□歯磨きセット
- □生理用品

＜家族構成に応じて必要なもの＞

- 乳幼児　：離乳食、粉ミルク・液体ミルク、おむつ、おしりふき など
- 妊　婦　：母子健康手帳、脱脂綿、ガーゼ、新生児用品 など
- 高齢者　：入れ歯、入れ歯洗浄剤、介護食、大人用紙おむつ など
- 疾患のある方：主治医連絡先、持病薬、お薬手帳 など
- ペット　：リード、ケージ、排せつ用品、ペットフード など
- その他　：メガネ、コンタクトレンズ、補聴器 など

非常用備蓄品（最低3日分、できれば1週間）

避難所の備蓄品には限りがあります。また、ライフライン停止は長期に及ぶことも考えられます。自分や家族の生活必需品を日頃から準備しておくと安心です。
保存性のよい食料や水を買い置きし、消費したら買い足す「ローリングストック方式」が大変便利です。

- □飲料水
  ：大人1人当たり1日3リットル
- □食料品
  ：アルファ米、インスタント・レトルト食品、缶詰、お菓子、調味料など
- □トイレ用品
  ：簡易トイレ、汚物保存用容器、トイレ処理袋、トイレットペーパー
- □燃料
  ：カセットコンロ、カセットボンベ、固形燃料
- □簡易食器
  ：わりばし、紙皿、食品用ラップ
- □寝具
  ：毛布、寝袋
- □照明
  ：懐中電灯、LEDランタン

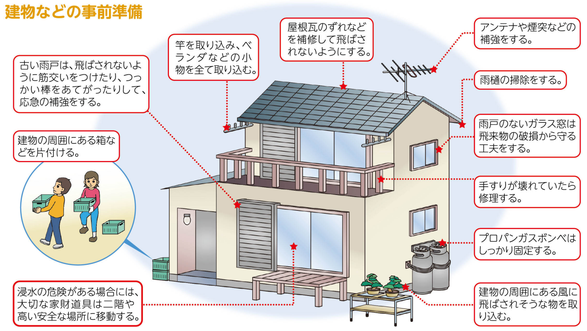
●ローリングストック方式

日頃からの心がけ

風水害に備えておくべきこと

台風や集中豪雨はある程度予測できる災害です。情報を入手し、しっかりした準備をしておきましょう。

建物などの事前準備



自宅周辺の危険箇所を確認

冠水や洪水時には濁水により足元が見えなくなるため、マンホールや用水路、側溝など、自宅周辺に潜む危険箇所を事前に把握するとともに、避難路を確認しておきましょう。

避難経路の確認

避難場所までのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを実際に歩いて確認しておきましょう。
※外出している家族が、交通機関のマヒなどで帰宅できない場合もあります。離ればなれになってしまった場合に備え、連絡方法や避難場所・集合場所を日頃から十分話しあっておきましょう。

側溝や雨水ますの清掃

側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になるため、台風の接近や大雨が予想される場合には、近所の側溝や雨水ますが詰まっていないか確認し、清掃等を行っておきましょう。

●家庭にあるものを利用して浸水防止

簡易水のうを活用して

ごみ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしばると簡易水のうができます。

ダンボール等に入れると持ち運びに便利で、設置も簡単です。

プランターやポリタンクを活用して

プランターやポリタンクを並べてレジャーシートで包み、浸水を防ぎます。

止水板を活用して

長めの板等を利用して、水のうやポリタンクと組み合わせて、浸水を防ぎます。

防災・災害情報の入手

災害が発生したり、発生するおそれがある場合に、市は避難に関する情報を発表します。災害情報や気象情報はテレビやラジオ、ホームページ等で確認できるので、日頃から情報を入手して確認するようにしましょう。また、災害時の連絡方法もチェックしておきましょう。

市では様々な情報発信ツールを用意していますので、各ご家庭にあわせて、受け取りやすいものをご利用ください。

防災行政無線が聞き取りづらい時でも安心！

▶アプリ「つくばみらい市防災」

▶登録制メール配信サービス

携帯電話やパソコンのメールアドレスに、防災行政無線や市からのお知らせを配信します。

スマートフォン用　ガラケー用

パソコン用URL　https://plus.sugumail.com/usr/tsukubamirai/home

二次元コードを読み取れない方は、次のアドレスに直接空メールを送信してください。
「つくばみらい市メール」登録用アドレス
▶t-tsukubamirai@sg-p.jp

ご登録の前に

携帯電話で迷惑メール対策の設定をされている場合は、次の2つの設定を行ってからご登録をお願いいたします。
●「sg-p.jp」ドメインからのメールの受信を許可する
●URL付きメールの受信を許可する
※迷惑メール対策をされていない場合でも、「仮登録完了のお知らせ」メールが届かない場合は上の2つの設定をお願いします。

▶防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容を電話で確認できるサービスです。

電話 0297-47-6377
※通話料は、利用者負担となりますのでご了承願います。

▶スマートスピーカー

ご自宅にスマートスピーカー（アレクサ、グーグルホーム）をお持ちの場合、最新の防災行政無線の情報を配信します。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

▶Yahoo!防災速報

台風接近時や災害発生時などに、注意喚起や避難情報を配信します。
※防災行政無線の放送は、配信されません。

Android用　iOS用

▶電話配信・FAX配信

防災行政無線の放送内容を、ご自宅の電話またはFAXに配信します。
<対象世帯>
・電話配信：携帯電話やスマートフォンをお持ちでない世帯
・FAX配信：聴覚に障がいがある方に限る
<申請方法>
事前に「電話・FAXによる防災行政無線配信サービス登録申請書」を市防災課へ提出してください。

防災情報ホームページ

気象庁
全国の天候や気象警報・注意報、気象データ等の情報を掲載

気象庁 土砂災害警戒判定メッシュ情報
土砂災害発生危険度の判定結果を掲載

国土交通省 川の防災情報
全国の河川の雨量や水位等の情報を掲載

マイ・タイムライン

マイ・タイムライン（あなたと家族のための避難予定表）とは、大雨や台風接近などにより、水害の危険性が高まっているときに、自分自身がとる行動を時間の流れに沿って整理したものです。いざというときに慌てないために、書き込んでおきましょう！

家の マイ・タイムライン　　年齢　名前　　家族・親戚・学校

時間	防災からの情報	自分の行動
3日前（台風発生）	台風予報 警戒レベル1 相当	事前にしておくことリスト（例）避難経路を確認／ペットの避難に必要な準備
2日前	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2 相当	●浸水する深さに（　）m ●河川との距離（　）m ●最寄りの避難所（　）m と時間（　）分 ●想定の避難先①（　）までの距離（　）m ②（　）まで（　）分 ●住んでいる場所が土砂災害警戒区域等に（入っている・いない） ●避難経路は土砂災害警戒区域等に（入っている・いない）
1日前	雨・風が時間とともに強くなる 警戒レベル3 桑名市 高齢者等避難 ▶避難開始	避難するタイミングを記入しよう
0時前	大雨特別警報 警戒レベル5 桑名市 緊急安全確保	逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう

〈 逃げなければならない時間 〉　〈 避難完了 〉

【我が家の避難スイッチ】
警戒レベル（　）が発令されたら（　）する

周囲の状況	家族・親戚・学校・職場

情報収集	情報入手先
気象情報	
川の水位情報	
避難情報	

[例] 自宅周辺にはげがある／自宅上川の距離○○m

風水害への対策

避難情報について

避難情報等（警戒レベル）

警戒レベル	状況	皆さんがとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保
	＜警戒レベル4までに必ず避難!＞		
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

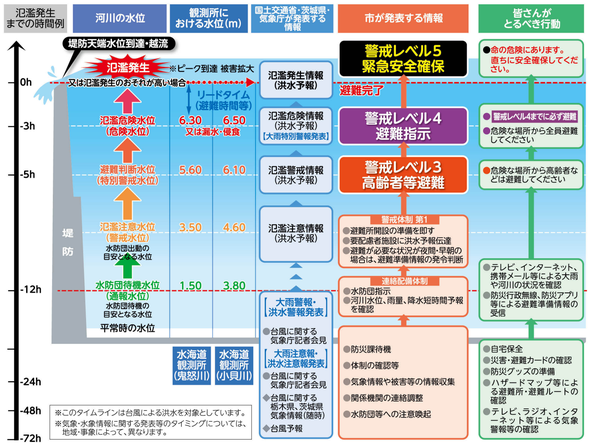
河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	——
1相当	——	——

市区町村長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示発令等に着目したタイムライン（鬼怒川・小貝川）

洪水時には、以下のような洪水予報が国や県、気象庁、市から発表されることがあります。市民の皆さんは、安全のために情報の種類に応じて、適切な行動をとりましょう。



※このタイムラインは台風による洪水を対象としています。
※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

▶避難時の心得

避難の基本的な考え方

危険が迫る前に早めに避難

雨や風が強いときに外出することは大変危険なため、危険が迫る前に早めの対策をすることが何よりも重要です。自ら積極的に気象情報等を入手することで、迫りくる危険を予測して、早めの避難を心がけましょう。浸水の危険性がある場合には、速やかに頑強な建物の2階以上、またはお近くの浸水しない地域に避難してください。

自宅に留まることも避難の一つ

既に河川が氾濫している場合などは、屋外を移動して避難所等へ避難する途中で被災することも考えられるため、自宅等の屋内に留まったり、建物の上階へ移動したりするほうが安全な場合もあります。

避難する時の注意点

▶正確な情報収集と自主的避難を

ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

▶避難する前に

避難する前に、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を止めておきましょう。また、避難所・避難場所の経路を確認し、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

▶歩ける深さ

歩ける深さは、膝下までです。水深があるようなら高いところで救助を待ちましょう。

▶徒歩での避難、水面下に注意

水面下には、どんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。
大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないでください。

▶非常持ち出し品等、荷物は必要最低限に

避難するときの荷物は必要最低限とし、特に妊産婦や乳幼児がいる家庭は必要なものをよく確認して、事前に準備しておきましょう。

▶速やかに避難しましょう

避難指示などは、危険が迫ったときに出されます。市や消防団から呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。また、避難の際には消防、警察などの指示に従いましょう。

▶動きやすい服装、2人以上での避難

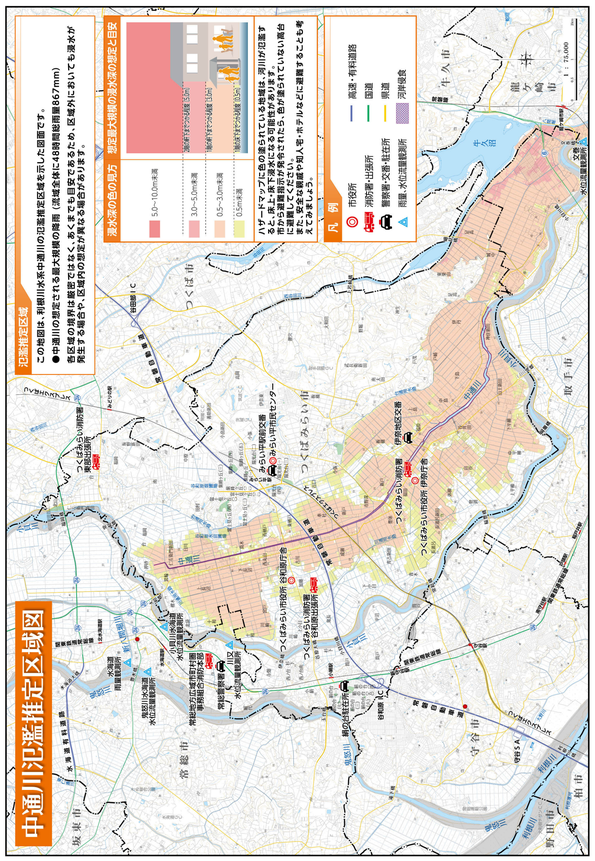
避難するときは、家を施錠し、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。
サンダル等は禁物です。動きやすい運動靴等をはきましょう。

▶車での避難は控えて

自動車での避難は、緊急車両の通行の妨げになりますので、避難所まで遠い場合や特別の場合を除きやめましょう。

▶万一、逃げ遅れたら

近くの丈夫な建物の2階以上に避難して救助を待ちましょう。住宅の2階部分でも場所によっては、危ないときもあります。


中通川氾濫推定区域図
氾濫推定区域
この地図は、利根川水系中通川の氾濫推定区域を示した図面です。
●中通川の想定される最大規模の雨量（流域全体に48時間雨量867mm）
当区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であるため、区域外において浸水が発生する場合や、区域内の想定が異なる場合があります。
浸水深の色の見方
0.5～10.0m未満
0.3～0.5m未満
0.5～3.0m未満
0.5m未満
ハザードマップに色塗られている地域は、河川が氾濫することが想定されていない場合に限定してください。
また、浸水深が高い場所や高い建物などに避難することも考えてください。
凡例
市役所
消防本部・出張所
警察署・交番・駐在所
指定・水位周知観測所
高速・有料道路
国道
県道
河川区域
つくばみらい市
牛久市
龍ケ崎市
取手市
守谷市
常総市
坂東市
利根川
小貝川
鬼怒川
中通川
水海道橋
水海道駅
水海道小学校
水海道高等学校
水海道第二小学校
水海道第二中学校
水海道第一小学校
水海道第一中学校
水海道第一保育所
水海道第一幼稚園
水海道第二保育所
水海道第二幼稚園
水海道第二保育所
水海道第二幼稚園
水海道第一保育所
水海道第一幼稚園
水海道第一小学校
水海道第一中学校
水海道第二小学校
水海道第二中学校
水海道第一保育所
水海道第一